

第8回木のグランドフェアに寄せて

キーワード：イベント 北海道こども木工作品コンクール、講演会、ウッドサマーフェスティバル、普及

林産試験場では、木材の需要拡大のため、一般市民を対象とした様々な普及活動を行っています。中でも今年度で8回目を迎えた「木のグランドフェア」（7月24日～8月15日）は五つの行事からなる最大のイベントです。林産試験場、（社）北海道林産技術普及協会の主催で、期間中15,300人の方に参加頂きました。今回のグランドフェアの様子を紹介します。

ウッドサマーフェスティバル（7月24～25日）

林産試験場の構内を開放して行う「お祭り」です。木っ端市、どんころ販売、場内公開、木工教室などを行いました。また、旭川道有林管理センターの協力による、ウッドプレートコーナーも人気を集めました。2日間の期間中、約7千人の方にご来場頂きました。

日本の木のおもちゃ展・大型木製遊具展（7月24日～8月15日）

国内で作られた木のおもちゃで、実際に手で触れて遊べるものを展示しました。パズルやクラフトから大型遊具まで幅広く取りそろえ、親子連れに好評でした。

第4回北海道親子日曜大工教室（7月30日～8月1日）

コンクール形式で出来栄を競って頂くものです。58組の親子が参加しました。

第7回北海道こども木工作品コンクール（7月24日～8月15日）

全道の小中学生から応募総数196点の力作が寄せられました。詳細は次ページで紹介いたします。

木を暮らしに活かす集い（8月9日）

「高齢者・身障者にやさしい生活を考えよう」をテーマにした講演会や、展示会、木質建材相談室（7月24～8月15日）を行いました。

なお、北海道教育委員会、北海道森林管理局旭川分局をはじめ、企業、各種団体、報道機関等多くの関係者からご支援、ご協力を頂きましたことを深く感謝いたします。



何をつくらうかな
（木っ端市）



力を合わせてパ
ードテーブ
ル作り



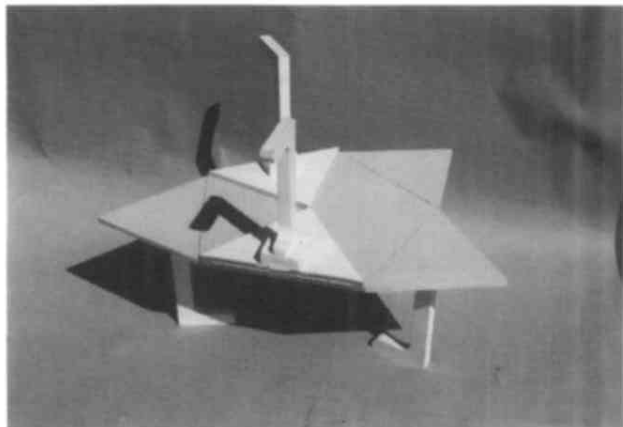
にぎわう
ウッドプ
レートコー
ナー



講演会の
様子

第7回 北海道こども木工作品コンクール受賞作品の紹介

今年度で7回目を迎えたこのコンクールは、木工工作を通じて木に触れることによって、その良さに対する理解を深めるとともに、創作意欲や製作技術の向上を図ることを目的としています。



北海道知事賞 木工工作の部 個人

『リバーシブルテーブル』

札幌市立稲穂中学校 2年

横井 嵩人 さん

脚の折り方によって星形と五角形の二通りの表情が楽しめる、発想の斬新さが評価されました。

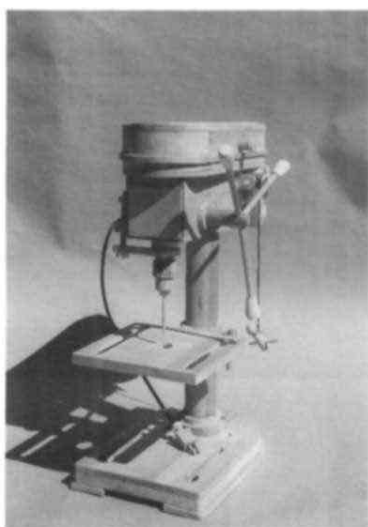
木工工作個人・団体とレリーフ個人の3部門のうち、小学生、中学生それぞれから金賞（1点）、銀賞（1点）、銅賞（1点）、佳作（数点）、奨励賞（数点）を選出します。

さらに、各部門の小学生、中学生の金賞のうち、どちらかを北海道知事賞とし、賞状が授与されます。

- 1) 木の持ち味や彫刻板の特徴を生かし、自分で新しく考え、作り出した作品であること。
- 2) 実生活に役立ったり、デザインが優れた作品であること。
- 3) 木工技術が優秀な作品であること。

以上3点が審査基準です。北海道立旭川美術館飯島修館長を委員長とする6名で構成された審査委員会で、それぞれの賞を選出しました。

表彰式は8月6日、林産試験場講堂にて行い、北海道知事賞、金賞を受賞した子供たちに賞状を手渡しました。賞状は、林産試験場で作製した「木の賞状」です。一つひとつ手作りで、子供たちからも大好評でした。



北海道知事賞 木工工作の部 団体

『おせわになっています。』

置戸町立勝山小学校 3,4年

硯 圭ノ介 さん ほか7名

工作で使うボール盤をすべて木で作り上げた力作です。本当に動き出しそうなほど、細部に渡って忠実に再現された高い木工技術が評価されました。



北海道知事賞 レリーフ作品の部

『あらいぐま』

厚沢部町立^{うずら}鶺中学校3年

干山 真奈美 さん

生き生きとした表情や毛並みが大変印象的な作品です。背景を深く彫り込んで対象を浮かび上がらせるなど、アート彫刻板の特徴を生かしています。

次の世代を担う子供たちが、木に触れ、木に親しみ、木の特徴を理解することは、彼らが大人になったとき、木製品を選択してくれるきっかけになるのではないのでしょうか。

林産試験場ではこれからもこのコンクールを継続していく予定です。想像力あふれるすばらしい作品が、数多く集まることを期待しています。

(林産試験場 普及課)



審査の様子

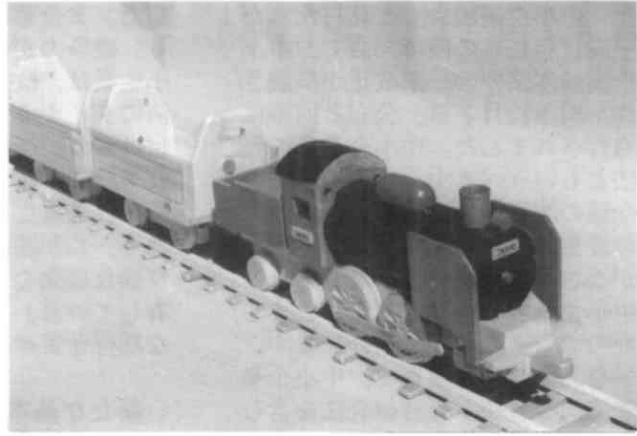


金賞 木工工作の部 個人
『踊っているタンチョウ』

阿寒町立布伏内小学校 4年

三沢 梢 さん

木の枝や輪切りを使って、羽ばたくタンチョウツルの動きを見事に表現しています。



金賞 木工工作の部 団体
『グリーントレイン(鉢植え列車)』

札幌市立稲穂中学校 2年

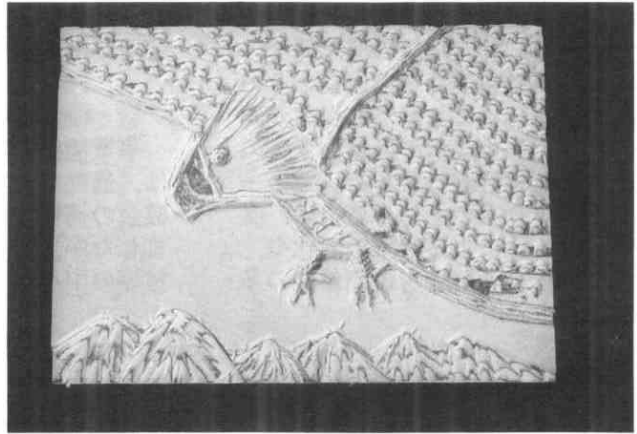
永井 宏典 さん ほか3名

車輪の動きも塗装もしっかりしており、中学生らしいセンスが光ります。



授賞式の様子

賞状を手にして



金賞 レリーフ作品の部
『オオワシ、知床を飛ぶ』

中標津町立計根別小学校 6年

下地 美緒 さん

大きく広げた羽の模様が美しく、知床の上空を悠々と飛ぶオオワシがうまく表現されています。